対策等の説明がありました。

特別講演では、「大腸がんについて」と題して、沖縄県立宮 古病院消化器外科部長の浅野志麻氏より、早期発見のための健 診受診や検査内容などの講話が行われました。

城間陸災防沖縄県支部宮古分会が読み上げた大会宣言を採択し、労働基準協会宮古支部安全衛生部会、建災防沖縄宮古分会 SP 会を筆頭に参加者全員でスローガンに向かい指差唱和を行い労働衛生の意識を高めました。



9月6日、石垣市市民会館中ホールにて令和5年度八重山地区労働衛生大会を行い、70事業所87名が参加しました。



八重山地域産業保健センターの上原代表の開会挨拶の後、八重山 支部安全衛生部会員を代表に、参加者全員で指差唱和を行いました。 共催者を代表して宮良博文八重山支部長は、「全ての方が安心して

働ける快適職場づくりが重要。健康を最優先にする職場環境のより一層の推進を」と呼び掛けました。

渋谷雄太八重山労働基準監督署長、前泊八重山市町会副会長及び長濱沖縄県八重山事務所長の代理の嘉数班長から来賓挨拶があり、渋谷八重山監督署長からは、「沖縄県の定期健康診断の有所見率は12年連続最下位で、八重山地区は令和2年の72.9%をピークに2年連続で減少し昨年は63.7%で沖縄県全体を大きく下回る結果となったが、全国平均よりはなお5.4ポイント大きい。血中脂質や血圧、肝機能など、生活習慣に起因すると考えられる項目が高い割合を示しており、改善には労働者一人一人の日頃の健康管理が非常に重要であ



る。自らの健康管理に努めて頂くと共に、事業者としての取り組みも行って頂きたい。八重山地区の業務上疾病の発生状況は、この3年間では、腰痛などの動作の反動・無理な動作が17人と全体の6割を占めていることと、熱中症が4人発生してうち2人が亡くなっていることが特徴として挙げられる。」旨のあいさつがありました。

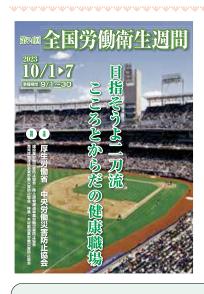
田村八重山監督署労働基準監督官からは、全国労働衛生週間の取組み、石綿等の法改正についての説明がありました。



特別講演では、沖縄県八重山病院腎臓内科部長宮里均先生による「八重山の透析と健康問題について」と題した講演が行われました。

大会宣言は、建災防沖縄県支部八重山分会の平良聡副分会長により読み上げられ、参加者全員の総意 により採択されました。

最後に建災防沖縄県支部八重山分会の米盛分会長が閉会挨拶し「心身ともに健康で快適な職場づくりを目指し、労働者の健康確保にさらに取組んで行きましょう。」と呼びかけ閉会しました。







開催日時:令和5年10月13日(金)14:00~

開催場所:ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城(那覇市)



